

ろうきん森の学校 福島地区

NPO法人いわきの森に親しむ会



設立の経緯

2001年7月から9月の間、森との共生をテーマに開催された「うつくしま未来博森のネイチャーツアー&森の学校」のいわき版を作ることと、30~40年前にはどこにでもあった里山を市民の手によって再生して、その里山において市民が安全に気軽に楽しく利用できる仕組みを作ること等をねらいとして、市民の有志が集まって2001年10月3日に設立した。

NPO法人の認証

指定管理者としていわき市林業研修センターおよびいわき市森林休養施設湯ノ岳山荘の管理運営に当たる必要から2004年6月にNPO法人の認証を受けた。

NPO法人の目的は「市民の森づくりならびに森との付き合い方についての調査研究、啓蒙に関する事業を行い、森に親しみながら持続可能な地域づくりを目指す」こと。

正会員：117名 家族会員：16名 団体会員：7名 計140名

活動内容

(1) 市民の森づくり

- ①里山における観察コースの整備と維持管理
- ②自然体験活動を安全に楽しく行うことのできるフィールドの整備
- ③栗園跡地（2.5ha）の再生整備
- ④里山の景観維持を主たるネライとした田んぼ、畑作業
 - a. 田んぼ・・・冬期湛水不耕起栽培（冬みず田んぼ）
多くの生き物が集まる空間作りをねらいとし、米の収穫は副産物
 - b. 畑・・・里山を開墾して畑にしたところで放置されていたところを復旧し耕作
- ⑤放置されている人工林の間伐等の整備作業
- ⑥海岸林の再生整備

(2) 森とのつき合い方の勉強会、プログラム開発

- ①プログラム開発
 - a. 里山を中心とした自然体験活動プログラム
 - b. 環境教育・学習プログラム
 - c. 同上の指導者養成のためのプログラム
- ②森づくり技術研修
- ③調査活動

(3) 自然案内人の育成ならびにインタープリテーション

- ①自然案内人の育成
- ②自然観察会・自然体験活動の実施
- ③小学校を中心とした環境教育支援

(4) 森林や林業に関する啓蒙

(5) 森に関する各種情報の受発信

(6) その他本会の目的達成に必要な活動

①いわき市林業研修センターおよびいわき市森林休養施設湯ノ岳山荘の管理運営について指定
管理者として受託

・ 定例活動日

森づくり活動	毎週水曜日、第 1, 3 土曜日
農作業	毎週月曜日、第 2, 4 土曜日
プログラム勉強会	毎週木曜日
木工クラフト活動	第 1, 3 火曜日



・ ろうきん森の学校自然体験活動

原則として毎月 1 回第 3 日曜日に開催

自然観察会、野外料理体験については毎回実施するほか森の手入れ体験、農作業体験、森林療法体験、ネイチャークラフト、山野草勉強会、キノコ勉強会、ソバ打ち体験等を加えたプログラム。

対象は会員を含む一般市民



・ いわき市林業研修センター湯ノ岳山荘

和室 8 室 (1 部屋 4 名)、会議室 1 部屋

バンガロー 5 人用 8 棟、4 人用 2 棟 (1 棟 2 部屋)

ふれあい広場、炊事場 1 棟、森の工房 1 棟、自然観察コース約 1 km

利用料金 山荘 1 泊 大人 1,430 円、小人 770 円 (自炊)

バンガロー 5 人用 5,500 円、4 人用 4,400 円

会議室 1 時間 330 円



